



カテゴリ: 受賞

2024年4月23日
第24007号

今年度より新たに創設された「SX銘柄2024」に選定されました



JALは、経済産業省と株式会社東京証券取引所により、新たに創設された「SX銘柄2024」^(*)に選定されました。

JALグループは、[中期経営計画ローリングプラン](#)において、ESG戦略を最上位に位置付けています。2030年に向けたあるべき姿JAL Vision 2030の実現に向けて、事業のサステナビリティを高めるとともに、社会的価値と企業価値の両立の追求に中長期的に取り組んでいます。これらの取り組みが社会と企業のサステナビリティを同期化させ、必要な変革を行いつつ長期的かつ持続的な価値向上を実現する先進的企業であると評価され、選定に至りました。

(*) SX銘柄…SXとは、社会のサステナビリティと企業のサステナビリティを同期化させ、そのために必要な経営・事業変革を行い、長期的かつ持続的な企業価値向上を図っていくための取り組みとされています。SXを通じて持続的に成長原資を生み出す力を高め、企業価値向上を実現する先進的企業群が「SX銘柄」として選定・表彰されます。(参考)経済産業省リリース [「SX銘柄2024」を選定しました](#)

【選定にあたっての評価】^(*)

総評	
長期戦略、ビジネスモデル、目指す姿は整合性があり、必要な人材戦略、DXを構築している。これを実行していくためのローリングプランの説明が、航空業界の抱える課題をとらまえてなされており、価値向上の期待が感じられる。	
観点別評価	
価値観・長期戦略	航空業界の重大課題の一つにカーボンニュートラルをとらえ、目指す姿を設定。マテリアリティ各々に目標が設定され、中長期的に進む方向性が明確化されている。
実行戦略	ICPの導入、社会的価値を考慮した新しい投資効率指標である「サステナブルROIC(仮称)」の導入の検討は評価に値する。
ガバナンス	役員報酬も含め、サステナビリティに関するガバナンス体制が強化されている。また、目指す姿実現のため、財務のKPIとともに、顧客満足の客観的指標NPSを設定、サステナビリティに関するKPIも丁寧に設定している。
投資家との対話・エンゲージメント	ローリングプランに投資家の意見を反映し、資本効率のKPIなど投資家の助言に対応している。

(*) 選定にあたって評価された取り組みは、SX銘柄レポート2024にて公表されています。JALは、社会的価値と企業価値の両立を追求し、持続的に成長する姿や取り組みを統合報告書「[JAL REPORT](#)」にて開示しています。

JALは今後も、多様なステークホルダーの皆さまのご理解・ご協力をいただきながら、サステナブルな航空輸送を実現するための変革を重ねることで社会課題の解決を図り、企業価値向上の向上に努めてまいります。

以上